

# 選衆院次期

# 「脱原発」統一候補

## 緑の党など 既成政党離れ期待

脱原発を掲げ「緑」をキーワードとする市民団体が次期衆院選の比例代表東京ブロックに統一候補を擁立する方針を固めた。東京電力福島第1原発事故で脱原発を求める声が高まり、首相官邸前で毎週、大規模なデモが行われている現状を追い風に、既成政党離れの目立つ有権者の支持を期待している。

## 比例東京で4人

統一候補擁立の中心になるのは、7月末に結成された「緑の党」と、宗教学者の中沢新一氏が代表を務める脱原発の運動体「グリーンアクティブ」。

緑の党は、地方議員や市民らでつくった団体「みどりの未来」が前身で、来夏参院選での国政進出を目指して準備を進めてきた。約90カ国の緑の党が参加する「グローバル・グリーンズ」にも加盟している。グリーンアクティブは今年2月に発足し、中沢氏のほか、

作家のいとうせいこう 司氏、歌手の加藤登紀子氏、社会学者の宮台真司氏らが発起人や賛同



週末の首相官邸前で脱原発を訴えるデモの参加者たち。次期衆院選は原発問題が大きな争点の一つになる  
＝3日、猪飼健史撮影

人に名を連ねる。

両団体は、次期衆院選へ向け注目を集める「大阪維新の会」に対

務める東京都杉並区の須黒奈緒区議は「脱原発の思いを持ちながら、民主党に失望し、

は慎重な立場だ。

次期衆院選では、ほかの市民団体にも協力を呼びかけて新たに政治団体を結成し、脱原発に絞った統一候補4人を擁立する方針。政治団体名について中沢氏は「略称として投票用紙に『脱原発』と書けるようにしたい」と話している。

### 各国における緑の党の主な活動

ドイツ	98年に社民党との連立でシュレーダー政権に参加し、05年まで与党。22年までに全原発を停止する方針は、この間に初めて決まった。09年のドイツ連邦議会（下院、総議席数622）総選挙では、68議席を獲得した。
フランス	97～02年に社会党などとの左派連立内閣に加わり、環境相を出した。今年6月の国民議会（下院、定数577）総選挙では17議席を獲得し、圧勝した社会党などと連立政権を組んでいる。
イタリア	96年に中小政党による中道左翼連合「オリーブの木」として政権に参加。オリーブの木は01年の上下両院総選挙で中道右派連合「自由の家」に敗れるまで、政権を担った。
米国	00年の大統領選でラルフ・ネーダー氏が出馬。民主党陣営のグリーン党が、選挙戦で大接戦を演じ、選挙結果に与えた影響を与えた。

### 緑の党

環境政策を前面に打ち出し、市民運動から発展していることなどが特徴の政党。欧州を中心に国政にも進出し、ドイツやフランスなどでは連立政権に参加した時期もある。東京電力福島第1原発事故を受け、ドイツの州議会選挙では反原発を掲げる緑の党が躍進、ドイツ政府が22年までに全原発を停止する方針を復活させる一因になった。

新自由主義的な政策には賛成できないという人の受け皿を目指す」と語る。既成政党では「国民の生活が第一」なども主張が重なるが、須黒氏は「個々の政策は違う」と連携には慎重な立場だ。

想定している。衆院選の比例代表では候補者1人当たり600万円の供託金が必ず必要。選挙運動資金と合わせて計4000万円の費用を見込み、個人を中心にした緊急カンパを実施する。  
【堀井恵里子】